

1. 計画の目的と構成

1-1 計画の背景と目的

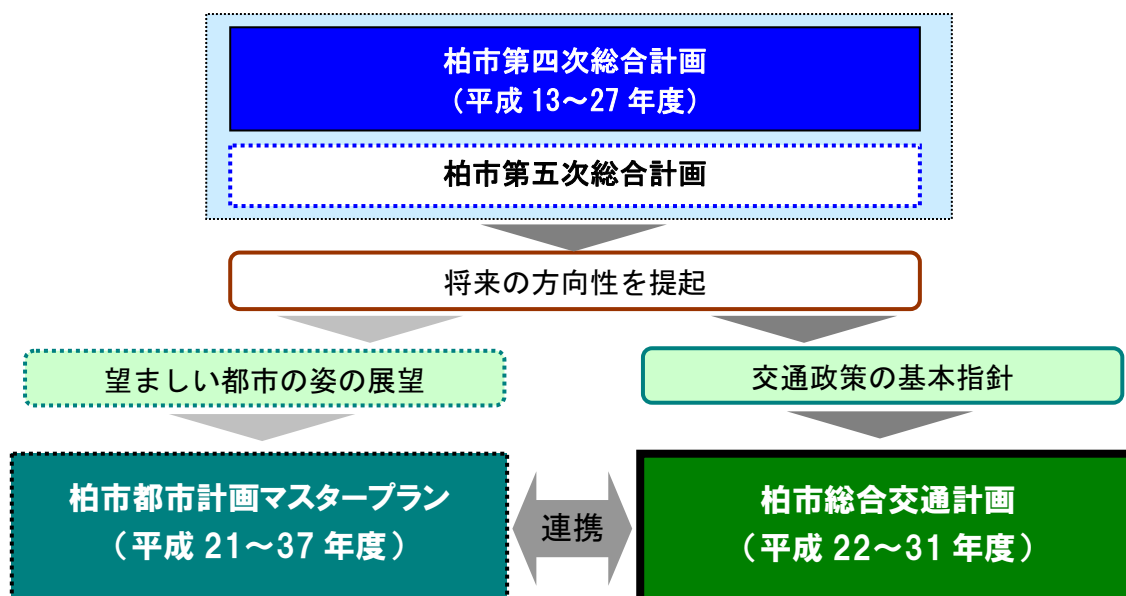
近年における少子高齢化の進展，環境問題への関心の高まり，自治体における厳しい財政状況など，交通政策を取り巻く社会経済情勢は大きく変化している。

本市においても，平成17年のつくばエクスプレス開業に伴い，柏の葉キャンパス駅周辺に新たな都心が形成され，これまでの柏駅を中心とした都市構造から二極型都市構造へと変化したことで，市内交通流にもさまざまな変化の兆しが見られる。

さらに，北部地域においては，産，学，公，民が連携して，「環境・健康・創造・交流の街」をコンセプトとした国際学術研究都市「柏の葉国際キャンパスタウン構想」のまちづくりがすすめられており，人を優先し，マルチモーダル（複数交通手段）が確保された交通の総合的計画・管理の推進を目指している。

これらを考慮し，本計画はこれまで取り組んできた交通課題や政策を振り返りながら，高齢者をはじめとした多様な交通ニーズの対応や地球環境への配慮など，社会情勢の変化を踏まえた総合的な視点から市民のための将来の望ましい交通計画を策定することを目的とするものである

■計画の位置づけ



■計画の目的

多様な交通ニーズの対応や地球環境への配慮など，社会情勢の変化を踏まえた総合的な視点から市民のための将来の望ましい交通計画を策定する。

■計画の役割

- ① 市民，事業者と行政が共通の理念や目標を持って，総合的な交通政策，施策，事業を推進していくための戦略的な指針
- ② 機能面，環境面，財政面などあらゆる側面から持続可能な交通システムをマネジメントできるパッケージプラン
- ③ 施策の実施を効果的に展開するためのアクションプラン（手順・時期・主体等）

1-2 目標年次

目標年次は平成31年度（10ヶ年）とし、必要に応じて見直しを行う。

1-3 計画の構成概要

1. 計画の目的と構成

- ・計画の基本的条件となる計画策定の背景と目的，位置づけ，目標年次，構成概要を整理する。

2. 柏市の交通現状

- ・交通発生源となる人口等の動向，土地利用などの地域特性，交通特性の現況を把握するとともに，計画の前提となる将来動向及び上位，関連計画を整理する。データ収集に際しては，既存資料を活用するほか，アンケート調査を実施する。

3. 市民アンケート結果概要

- ・市民の生活行動や移動ニーズを把握するため，アンケート調査を実施する。

4. 交通課題

- ・交通現状，計画の前提となる将来動向及び上位，関連計画を踏まえ，その上で交通課題を明確にする。

5. 計画の理念と目標

- ・市民の生活の質の向上，円滑なモビリティの向上，環境への配慮などの観点から，総合交通計画の理念と具体の目標について設定する。

6. 計画の基本方針

- ・目標を実現するための交通施策の方向性について，明らかにする。

7. 具体的取り組み施策

- ・基本方針に沿って具体的な施策体系を検討し，総合交通計画としてまとめる。
- ・計画の実現に当たっては，重点的取り組み施策を抽出し，段階的な実施を行う。